

関東東海北陸農業試験研究推進会議 果樹部会
令和6年度現地研究会開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議 果樹部会
部会長 農研機構果樹茶業研究部門 児下佳子

1. 趣旨

果樹農業は気候変動や生産者の減少等による生産基盤の脆弱化など、様々な課題に直面している。将来にわたって生産力の向上と持続性を両立するには、将来のリスクに関する情報を収集・整理し、それらに対応した技術開発とその速やかな普及が不可欠である。

そこで、本年度の現地検討会では、気候変動対策に関する取組みについて話題提供を受けるとともに、気候変動対策など持続可能な果樹農業の実現に取り組んでいる富山県の梨産地を視察し、今後の研究方向について検討を行う。

2. 開催日時場所

- 1) 研究会：7月11日（木）13：30～17：00
富山県民会館7階 701会議室（富山県富山市新総曲輪4番18号）
- 2) 現地検討会：7月12日（金）8：30～12：30
 - ①呉羽梨産地（富山市）
 - ②富山県農林水産総合技術センター園芸研究所果樹研究センター（魚津市）

3. 検討事項

テーマ「持続可能な果樹農業の実現に向けた気候変動対策等の取組み」

1) 研究会

（1）話題提供

- ①気候変動が果樹農業に及ぼす影響と近年の動向
（農研機構果樹茶業研究部門 杉浦俊彦）
- ②気温上昇がりんご生産に及ぼす影響と対策
（長野県果樹試験場 江口直樹）
- ③神奈川県におけるニホンナシ発芽不良発生状況と品種別耐凍性
（神奈川県農業技術センター 曾根田友暁）
- ④持続可能な果樹農業の実現に向けた富山県の取組み
（富山県果樹研究センター 杉山洋行）
- ⑤呉羽梨の凍霜害リスクにかかる将来予測
（富山県環境科学センター 水田圭一）

（2）総合討論

（3）その他

2) 現地検討会

(1) 集合場所 富山駅北口観光バス待機場 ※借上げバスで移動

(2) 現地視察

①呉羽梨産地（富山市）

- ・ ICT を導入した防霜対策の取組み
- ・ 発芽不良対策などを目的とした施肥時期の見直しの取組み
- ・ ニホンナシ+ブドウの複合経営体の減農薬栽培に向けた取組み
- ・ 黒星病対策の取組み

②果樹研究センター（魚津市）

- ・ 試験ほ場案内及び研究紹介等

(3) 解散場所 富山駅北口観光バス待機場

4. 参集範囲

関東東海北陸地域各都県行政・試験研究機関、農林水産省生産局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、農業・食品産業技術総合研究機構中日本農業研究センター、果樹茶業研究部門、その他部会長が必要と認めた者

5. その他

参加申込み、資料提出、その他の詳細については、別途事務局（富山県農林水産総合技術センター園芸研究所果樹研究センター）から連絡する。

6. 連絡先

富山県農林水産総合技術センター園芸研究所果樹研究センター（杉山洋行）

TEL: 0765-22-0185 E-mail: hiroyuki.sugiyama01@pref.toyama.lg.jp

農研機構果樹茶業研究部門果樹生産研究領域（児下佳子）

TEL: 029-838-6451 E-mail: koshita@affrc.go.jp